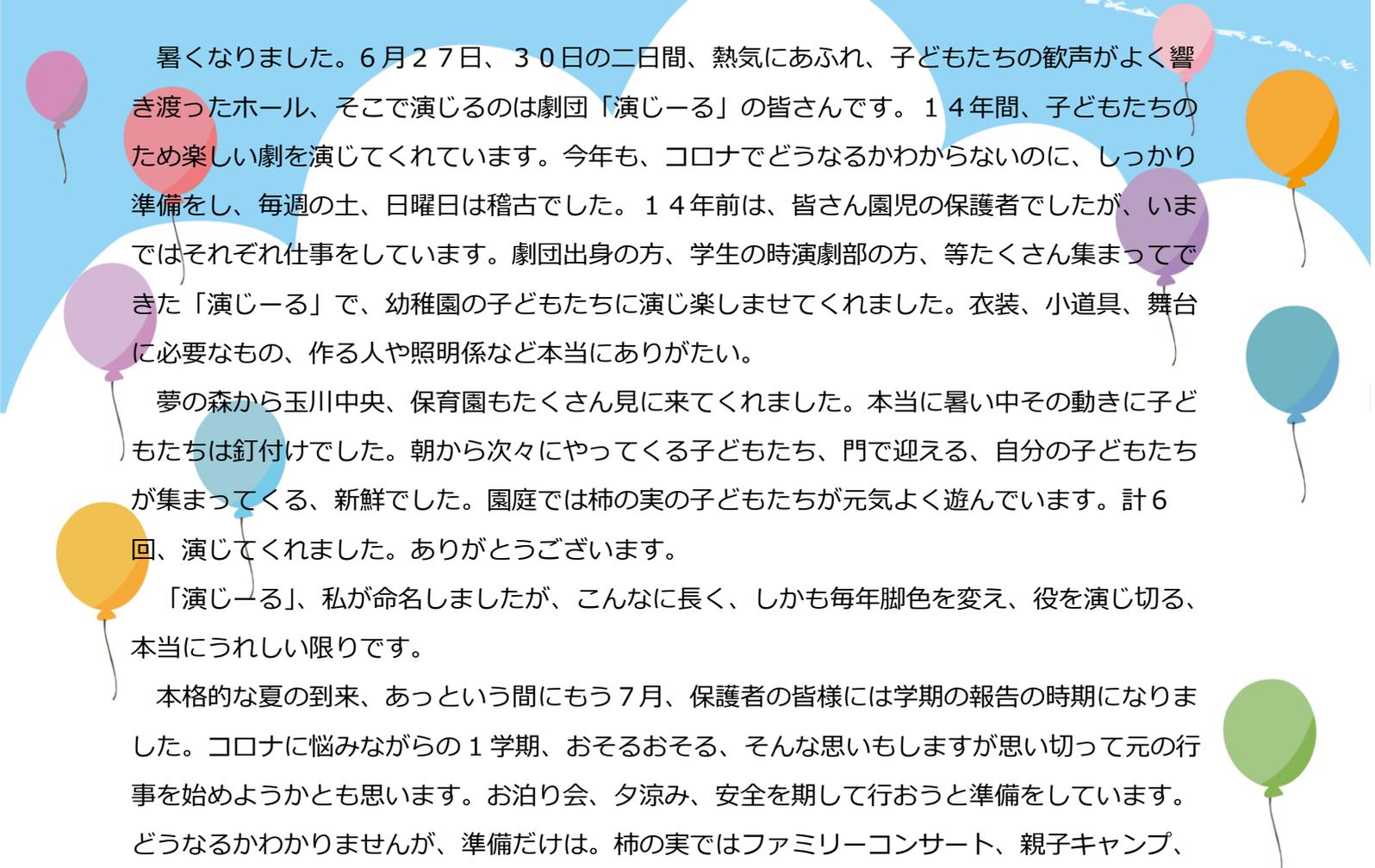




演じる、演じて14年

園長 小島 澄人



暑くなりました。6月27日、30日の二日間、熱気にあふれ、子どもたちの歓声がよく響き渡ったホール、そこで演じるのは劇団「演じる」の皆さんです。14年間、子どもたちのため楽しい劇を演じてくれています。今年も、コロナでどうなるかわからないのに、しっかり準備をし、毎週の土、日曜日は稽古でした。14年前は、皆さん園児の保護者でしたが、いまではそれぞれ仕事をしています。劇団出身の方、学生の時演劇部の方、等たくさん集まってできた「演じる」で、幼稚園の子どもたちに演じ楽しませてくれました。衣装、小道具、舞台に必要なもの、作る人や照明係など本当にありがたい。

夢の森から玉川中央、保育園もたくさん見に来てくれました。本当に暑い中その動きに子どもたちは釘付けでした。朝から次々にやってくる子どもたち、門で迎える、自分の子どもたちが集まってくる、新鮮でした。園庭では柿の実の子どもたちが元気よく遊んでいます。計6回、演じてくれました。ありがとうございます。

「演じる」、私が命名しましたが、こんなに長く、しかも毎年脚色を変え、役を演じ切る、本当にうれしい限りです。

本格的な夏の到来、あっという間にもう7月、保護者の皆様には学期の報告の時期になりました。コロナに悩みながらの1学期、おそろおそろ、そんな思いもしますが思い切って元の行事を始めようかとも思います。お泊り会、夕涼み、安全を期して行おうと準備をしています。どうなるかわかりませんが、準備だけは、柿の実ではファミリーコンサート、親子キャンプ、木工フェスタ、自然探検、ピザ作り体験、も計画しています。夢の森、玉川中央、それぞれのイベント、本当に楽しいものになればなあ、先生たちも必死に考えています。

壁画、完成しました。暑い中、一個一個貼り付け、まあまあの出来です。久しぶりなので時間がかかりましたが日曜日に仕上がりました。今までは仕上がりに作品の表面にクリア液を吹き付けていましたが、地味に素材そのもので見てもらったほうがいいかな、と思いつやなしです。いつか見てください、園長の遊びだと思って。次は土日、植木の剪定です。いつまでできるかわからないが自然も手入れが必要です。小野路の畑ではジャガイモの収穫、またたくさんのサツマイモの苗も植え付けました。二人の地元の方に貸していた畑も返していただき来年度からは「たまねぎ」の植え付けを考えています。斜面にはもうそろそろ柿の実、ミカンが育つと思います。楽しみです。